

ありがとうございます!

宍道湖漁協様より  
しじみを寄付して頂きました。  
グループホームに分配し、  
各ホームで調理して  
美味しく頂きました!



平田生花店様より

沢山の生花(バラ)を寄贈いただきました。  
事業所に配り、皆の日常に優しい彩りが増えました。  
いつもありがとうございます。

### 苦情や要望の受付・解決への取り組み報告 (令和5年4月～令和5年7月)

標記期間中に苦情の申し立てはありませんでした。

今後も真摯に対応していきたいと考えますので、お気軽に、お申し付け下さい。なお、法人内、各事業所の苦情受付窓口以外に下記にご相談頂くこともできます。

千鳥福祉会苦情解決第三者委員  
京 俊輔 氏 (島根大学人間科学部 准教授) TEL0852-32-6239  
武子 愛 氏 (島根大学人間科学部 講師) TEL0852-32-9053  
島根県施設運営適正化委員会 TEL0852-32-5913

### 利用者みなさんの「声」受け付け報告 (令和5年4月～令和5年7月)

当法人では、利用者みなさんから上がるいろいろな相談、その「声」に耳を傾け、利用者みなさんの立場に立った支援をしていきたいと考えています。  
各事業所がそれぞれに工夫して「声」に耳を傾け、相談に応じたいと思います。

	利用者みなさまより	ご家族みなさまより (世話人含む)
持田寮	45	2
ういんぐ	49	0
フレンド	46	0
ばすてる・ばすてるびいす	21	5
共同生活	20	2
大空	30	1

### 内部研修実施報告

## 「行動分析を用いた 支援と職場風土づくり」

コロナ禍で控えていた内部研修も少しずつ開催し、今年度は互いの学びの場を増やして行ければ、との方針で内部研修を実施しました。今回は改めて行動分析を用いた支援の基礎を学び直し、この手立てをより良い職場づくりにも活かさないか、と情報収集をし、勉強会を行いました。行動分析のフレームワークでメンバー同士の相互作用を紐解くことができれば、一人ひとりとチームの行動変容が期待でき、心理的安全性の高い職場づくりにつながるのではないかと、言う切り口は内部研修としては初めてだったかも知れません。今後も私たちの関係性と支援を高めて行ける学びの機会を設けていければと考えています。(法人本部・江指)



「Facebook」や「マチコミ」では、日常の様々な活動や情報がご覧いただけます。



「Facebook」  
法人のFacebookページを情報発信委員会で運営しております。  
<<https://www.facebook.com/chidorifukushikai1415/>>  
事業所での日々の様子を、SNSでより身近にお伝えできるよう頑張りますので、よろしくお願ひします!(フォローやリアクション頂けると大変喜びます!)



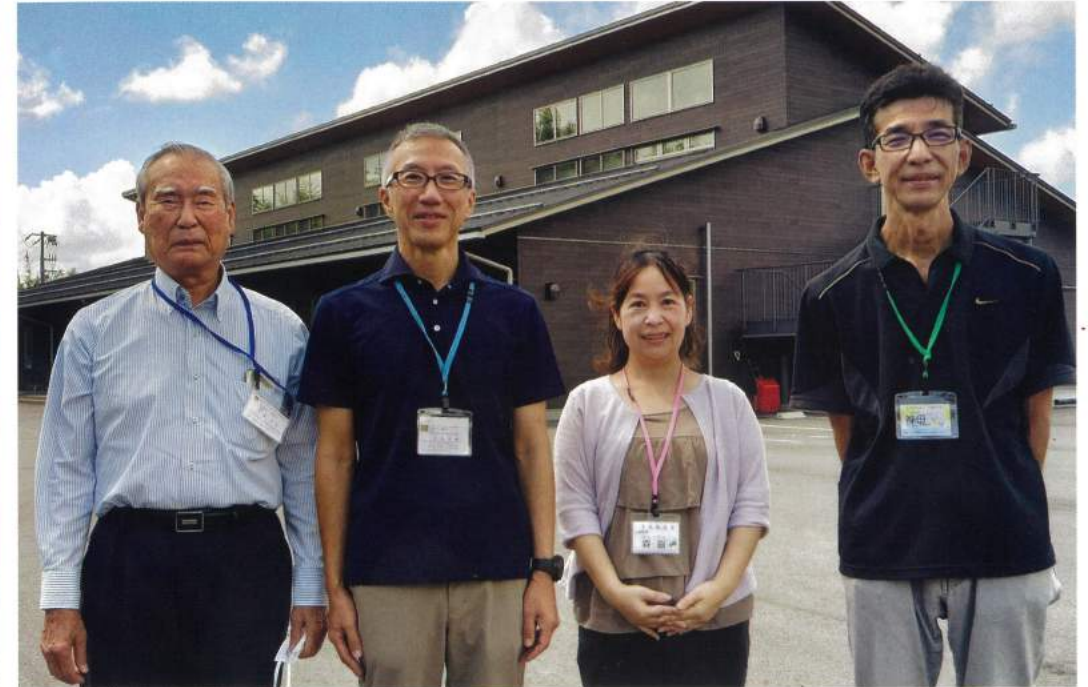
「マチコミ」にご登録の皆様へ  
職員・保護者の連絡網として導入したメール配信サービス「マチコミ」について、アプリ版のご案内です。スマートフォンからご利用の場合は、アプリ登録でタイムラインの閲覧などより便利にお使い頂けます。  
アプリのダウンロードはこちらから。  
<※もしもは各ストアから「マチコミ」で検索。>  
詳細は各事業所の情報発信委員までお気軽にお問い合わせください。

千鳥福祉会ホームページ  
URL <http://www.tidori.org/>  
E-mail [chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp](mailto:chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp)

Leaving  
Care News  
2023.9.10 No.146



〒690-0814 松江市東持田町1415  
社会福祉法人 千鳥福祉会  
TEL 0852-24-8821(代)FAX 0852-24-8825  
障がい者支援施設 持田寮  
多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ  
ワーケーションフレンド  
共同生活援助事業所 つばきの里  
居宅介護等事業所 千鳥福祉会ケアセンター大空  
相談支援事業所 ひまわり  
放課後等デイサービス ばすてる・ばすてるびいす  
URL <http://www.tidori.org/>  
E-mail [chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp](mailto:chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp)



業務執行理事体制 (左から) 伊藤常務理事・江指理事長・森脇副理事長・神田常務理事

就任のごあいさつ

## 「人のつながりから、幸せをつくろう」

理事長 江指裕嗣

この夏の記録的猛暑は地球温暖化の進行を物語るものか。時代の移り変わりを感じる今日この頃です。

今夏、当法人も一つの節目を迎えました。6月末に山本前理事長が退任となり、私が後任を務めさせて頂くことになりました。微力ではありますが、精一杯務めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

法人設立から33年。昭和の雰囲気を残した開設当初から考えると、世の中はコンピュータによる情報革命を経て、随分便利に、大きく変わりました。この間、障がい者福祉の世界も措置制度から契約制へと移り、サービスの質が求められ、成果報酬が加算として組み込まれる制度へと改変が繰り返されて来ました。

さて、私たちの暮らしは良くなったのでしょうか。気候変動に伴う災害の多発。コロナウィルスによって全世界が一斉に経験した危機。SDGsに象徴される持続可能な社会をつくるのが全世界的な課題となっています。

私たちが携わって来た障がい者福祉の現場を見ると、従事者の所得水準の低さや社会的な人手不足もあり、新たな仲間を得にくい状況があります。一方で、求められる業務量は30年前の何倍にも膨れ上がり、福祉事業経営の難しさを感じる日々です。

こうした現状に鬱々とした気持ちにもなりそうですが、私たちが向き合ってきた障がいがあるみなさんとの関わりは、常に人のつながりの大切さを私たちに教えてくれます。そして、仲間と一緒に活動をする楽しさやよろこびも。

人のつながりの中から動く人々が幸せを感じ、持続可能な価値を生み、誰も置き去りにしない世の中を創ることは、身近なコミュニティから始めることが可能なのではないかと感じます。あらゆる人が自分らしく暮らし、幸せをより多く感じられる時が溢れて行くよう、ともに歩んで来た役職員と歩みを進めて行きたいと思ひます。

私たち千鳥福祉会の今後の活動を温かく見守って頂けたのなら、幸いです。

### 編集/情報発信委員会

- ・江指 裕嗣
- ・吉松 裕介
- ・山崎 耕平
- ・高本 舞祈
- ・三原 恵美
- ・片寄みなみ
- ・日野 裕美
- ・植尾 佳代



# 短冊に願いを...

ういんぐ七夕会を8月4日に行いました。コロナの規制が解除され初めての事業所の行事でしたが、予防の対策として就労班・介護班に分かれ行いました。就労も介護も利用者さんに合わせた特色のあるものとなり、皆さん楽しんでおられました。また短冊には、コロナの影響でできなかったこと、これからやりたいこと、今後の目標など、願い事をたくさん書いておられました。この日はとても暑く、かき氷を食べて皆さんで「涼」も楽しみました。来年こそは班別でなく、ういんぐ全員で楽しめる会になることを願っています。(L.C.C.ういんぐ・山崎)



# ばすてる & ぴいずの夏休み2023



外出時に限らず、常に熱中症対策を心掛けた夏休みでした。どんなに暑くても好奇心いっぱいな児童さんたち。きっと素敵な思い出が沢山できたことでしょう。(ばすてる・日野)

# ミニサマーフェスタ!

ワークセンターフレンドでは今夏、初の試みとして、事業所行事としての「ミニサマーフェスタ」を行いました。かき氷、ベビーカステラ、焼き鳥、焼きそばなど、職員が作る屋台風のメニューを買い回ったり。目玉イベントのビンゴでは、見事当たった景品を利用者様同士で見せ合ったり。フィナーレでは打ち上げ花火をし、拍手喝采で幕を閉じました。(フレンド・高本)



# 共生型事業開始へ

この度、L.C.C.ういんぐでは新たな事業「共生型地域密着型通所介護」を8月1日から開始しました。高齢化社会が益々進む中、このサービスを始めることによって介護保険サービスの利用対象となる方の受け入れを障がい福祉サービスの枠組みの中でも行うことが出来るようになります。65歳を越えても、ういんぐで提供するサービスを継続して受けたい方、住み慣れた地域で家から通えるサービスを受けたい方等「介護」や「障がい」といった枠組みにとらわれず、多様化・複雑化している福祉ニーズに臨機応変に対応することが出来るサービスとなっています。このサービスの開始が、ういんぐの目指す共生型社会の実現に向けた一歩となるよう職員一同取り組んでいきたいと思っております。(L.C.C.ういんぐ・長野)

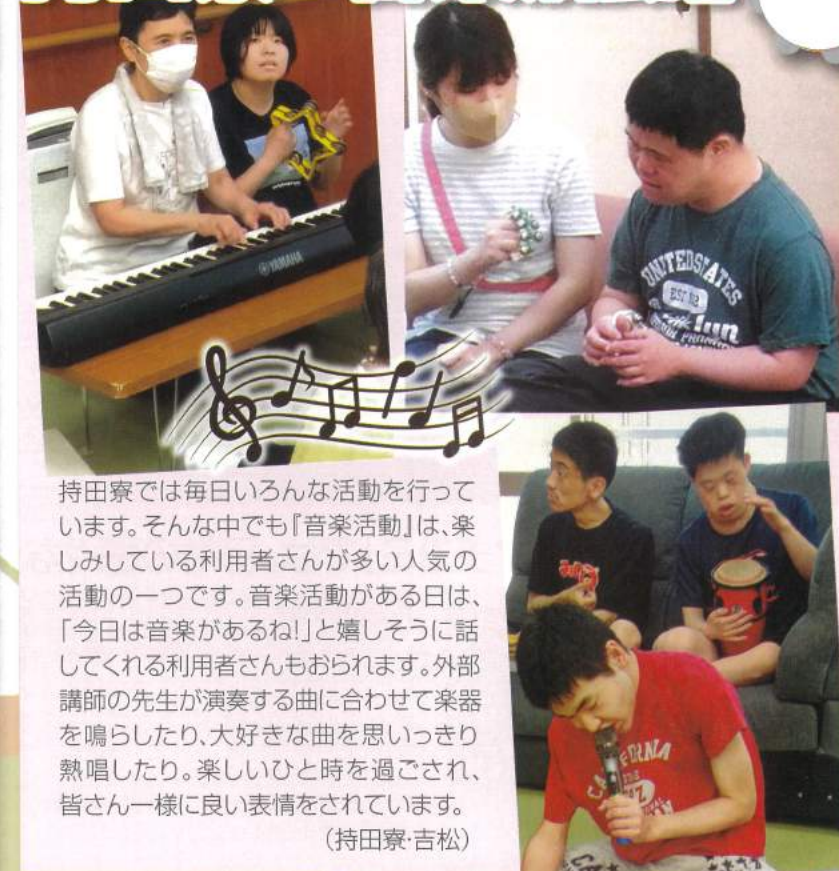


# はばたけ! レベルアップお料理教室



ケアセンター大空では居宅支援が増え、男性独居のお宅に男性ヘルパーが調理に入る事が増えてきています。料理が苦手な利用者様の自立を目指し、一緒に調理しながら方法をヘルパーが伝えています。その際課題となっているのが、ヘルシーで家庭的な煮物などの料理が苦手なヘルパーが多いという事です。そこで今年度は、誰でも作りやすい時短で簡単なメニューの調理実習を隔月で計画し、これまでに2回実施しました。調理の得意なヘルパーがメニューを決め、レシピや材料を用意。男性ヘルパーと共に調理を行い、味付けの仕方や使いやすい調味料などその場で説明しています。色々なメニューを作りましたがどれも、こんな簡単な味付けでいいの!と教わる側は目からウロコの様子。次は煮魚が知りたい、などの話も出ました。女性同士でもそれぞれのやり方など情報共有ができました。美味しく健康的な食事作りを学び、利用者様のレベルアップをサポートできるよう、いっそう努力してまいります。(ケアセンター大空・三原)

# 持田寮「音楽活動」



持田寮では毎日いろんな活動を行っています。そんな中でも『音楽活動』は、楽しみしている利用者さんが多い人気の活動の一つです。音楽活動がある日は、「今日は音楽があるね!」と嬉しそうに話してくれる利用者さんもおられます。外部講師の先生が演奏する曲に合わせて楽器を鳴らしたり、大好きな曲を思いっきり熱唱したり。楽しいひと時を過ごされ、皆さん一緒に良い表情をされています。(持田寮・吉松)